

福岡便教会だより

第九号 平成二十四年七月九日発行

第九回 定例研修会の概要

第九回定例研修会は、六月十六日(土)、台風四号の影響で強い雨が降る中、午前八時三十分から十二時まで、福岡市立東光小学校(博多区)において開催しました。

参加者は、酒井教育長、大西理事をはじめ市教委関係者一七名、教職員五〇名、小学生二九名(東光小二八名、長丘小一名)、保護者四名、一般三名の合計一〇三名でした。



掃除のマスコット「スタンバード」

今回の研修テーマ「工夫」について

掃除は、人が立派に生きていくために大切なことを教えてくれます。その大切なこととは、**か感動・感謝**、**き気づき**、**く工夫**、**け謙虚**、**く行動の五徳**です。今回は、**く工夫**をテーマとしました。

日本を美しくする会の相談役 鍵山秀三郎氏は、工夫について次のように語っています。

「いつまでも、同じ範囲を同じ時間費やして掃除しているようでは、工夫が足りません。同じ範囲の掃除をするのであれば、効率を上げて時間を短縮する。また、同じ時間をかけて掃除をするのであれば、範囲を広げる。少しでも工夫改善をしなければ、進歩がありません。進歩がなければ継続できません。」(鍵山秀三郎 一日一話「亀井民治・編より」)

○ 人が行き詰るのは、一つのことを掘り下げないで、人と同じことを同じやり方でするからです。

○ 毎日同じ道具で、それも箒の先が曲がっていたり、先が壊れた塵取を使ったりして何とも思わなかったら継続はできません。誰でも嫌になります。

○ 仕事において大事なことは工夫を重ねることです。どうして真剣に取り組めないかといえば、その工夫が足りないからです。

○ ただ単に掃除をするだけでなく、微差・僅差の追求が大事です。これが工夫のコツです。

(鍵山秀三郎語録「寺田一清・編より」)

実践発表

香椎第一中学校 教諭 中尾康二

わたくしは、トイレ掃除に学ぶ事をさせていたでくようになり、四年目になりました。

トイレ掃除に出会ってから現在まで、ほぼ毎日トイレ掃除をさせていただいております。

日々のトイレ掃除の中から学んだ事ですが、本当に清々しい気持ちになります。

第一回便教会での塩屋一角先生との出会いにより幼いころから、トイレ掃除には自信がありました。掃除が終わって何も出来ない自分に気付きました。本当に情けなかったです。と同時にもう一度トイレ掃除をしたいと強く思いました。

(プラス思考にするトイレ掃除)

「たかがトイレ掃除 されどトイレ掃除」

その後、我が家でも職場でもトイレを意識するよう

になりました。

「どのようにしたらあの清々しいトイレになるのだろう。」

ここから掃除の工夫が始まりました。

色々な掃除道具を購入して試してみたり、掃除に学ぶ会に参加して、効率的な道具の使い方を学んで実践したりしました。雑巾、ほうき、タワシ、水の流し方等々です。

このような工夫を毎日続けていくだけで、仕事や生活のあらゆる所にも気づきや工夫が出てきます。トイレ掃除の魔法にでもかかったようです。

これを繰り返していると自然に一緒にトイレ掃除をしていただけの方と出会うことができました。

この三年間の取り組みの中で、私のような人間でも工夫を続けると社会に少しでも役に立つことができるようになることを皆さんに是非伝えていきたいです。

← 「自分がコツコツやれば必ず人はついて来る」

← 「ただ身を低くし実践あるのみ」

← 「気づき」が多くなる

← 「工夫してみよう」

← 「掃除に学ぶ」とは、これだ！

← 清々しい気持ちになる

感想文

感想は二つの項目でまとめました。☆は児童、◎は保護者と一般参加者、○は教師を表します。

一 トイレ掃除を終えた気持ちは？

☆ さいしよは、いつも使っているトイレがあんなにきかないとは、思ってもみませんでした。でも、みんなでしんけんをやったら、さつきとまつたくちがうくらいきれいで、とつてもびつくりしたし、とつてもうれしかったし、とつても楽しかったからよかったです。これからもトイレをきれいにしたいです。

☆ 最初は、便器の中のをこれを見て、「やりたくないなあ。」「めんどうくさい。」「と思ったけど、トイレそうじをしていくうちに、どんどんきれいになって、終わってみると、すごくきれいになっていて、さすががしくなりました。タワシでぐるぐるこしして、あわが黒くなっていて、流すとピカピカになってうれしかったです。この「福岡便教会」に出てみて、本当に良かったです。

☆ たのしかったです。おうちでもがんばります。がこうでも、がんばります。

☆ 始めは、おそろおそろの手を入れる感じでした。

「こんなところまでするの?」ときもんに思うこともあったけれど、どんどんやるたびに、「こもできるといいんじゃないか?」と思ひ、どんどんやりました。どんどんやるとききれいになって、それがうれしくて、どんどんやっていく私。振り返ると、よがんばったなあと思います。今度は、もっときれいに、トイレに行く人をすがすがしい気持ちにさせてみたいです。

☆ とても大変だったけど、楽しかったです。便器をみがいていたら、とても黒くなっていたので、おどろきました。でも、最後に流すと、とつてもきれいになっていたので、うれしかったです。

☆ 様々な道具を自分たちで考えて使ったら、便器の中など色々なところがキレイになり、心がおだやかにになりました。そして、いつのまにか、便器に顔が近くなっていました。近くで色々なところを見ると、すみの方にたくさんよこれがたまっていることに気づきました。だから、色々な所を近くで見ると、色々気づくことがありました。

◎ がんばりました!達成感のようなものがあります。子どもも参加させてもらい、ありがとうございます。息子は、「どうして自分が?」「きたない、くさい。」と言っていました。参加できてよかったです。

◎ やはり、大人が率先して、お手本的な事を見せることが大切だと思いました。何年も開かずの排水口にほこりがたまり、水が流れない状態でしたが、リーダーやサブリーダーさんたちが手を突っ込んできれいにされました。私も汚いと思わず、やることができました。すがすがしい気持ちです。

○ きれいになった便器、水のおいのトイレを目にする、とてもさわやかな気持ちになります。十時先生をはじめ、お世話くださった皆様のおかげと感謝しています。

○ 率直に楽しかったです。一時間ぐらいだったので、あと二十分は必要です。その位掃除に対し

て一生懸命になれたし、周りの人たちとのコミュニケーションもとれたと思います。便器がきれいになったことよりも、学校や誰かのために頑張れた、これが今日一番嬉しかったことです。お忙しい中、このような活動を企画していただいて、ありがとうございます。

○ サブリーダーとして参加しました。子どもたちが一生懸命に勇気をふりしぼり、便器と向き合う姿は、何回見ても感動します。自分自身、初心にかえることができます。時間の配分が難しいのですが、リーダーが臨機応変に対応してくださり、さすがだなあと思いました。そんな時にリーダーの意図を読み取れるようにならねば…と反省しました。サブリーダーって難しいです。

○ 始めは、これからの時間、ずっとトイレ掃除かと思うと、非常に長いと感じており、抵抗もありました。しかし、掃除を進めていくうちに無我夢中になっており、時間が短く感じ、汚れの落ちていない部分に悔しさも残りました。普段何気なくやっているトイレ掃除ですが、掃除道具の使い方、正しい水の使い方、このトイレ掃除を通じて学ぶことができました。

今は、清々しい気分です。

道具を使い分けて、一生懸命に磨いたら、こんなにきれいになったよ!やったね!



○ みなさんと声を掛け合いながら、充実した時間を過ごせました。「自分の心を磨く」とまでは、短いこの時間では意識できませんでしたが、汗をかきながら集中して掃除をしたことはストレス発散につながったような気がします。ありがとうございます。

○ 昨日までのストレスが一気に吹き飛んだ気分です。掃除をすることが気持ちよいのはもちろんですが、掃除をして、気持ちよくなっている人を見るのも、とっても気持ち良いです。

○ すつきり！です。一人で黙々と行う掃除も大切ですが、一緒にきれいにしようと掃除をする仲間がいることに随分と勇気づけられていると思います。今回も新しく出会えた方々と良い時間が過ごせて、感謝いたします。

○ 今日は児童と一緒に便器を磨くことができて、楽しかったです。日頃の掃除がていねいにしてあること、参加の皆さんが多くすることに気づき、工夫していただいたことをうれしく思いました。



黙々と、ただひたすらに磨く。いつの間にか、自分の顔が便器に近づいていた。見えなかったものが見えてきた。

二 今回の体験をどのように活かしますか？

☆ 例えば、物を大切にすること、よごれていたならきれいにすることで、この体験で学んだことをいかしたいです。この経験を一生忘れないようにしたいです。またやりたいです。

☆ トイレをみがいて、きれいになって、本当にすがすがしかったので、自分のやらなければいけないことはていついてきにやろうとおもいました。トイレそうじでは、スポンジや洗剤だけでなく、いらなくなつたブラシなども使えるんだなあと思いました。エコな工夫で家でも使っていきます。

◎ 工夫↓知恵を使うこと、試みてみることに、失敗すること、また挑戦すること！

◎ 少ないよこれから大きなよこれ、上から下へ、バケツでのリレー洗いなど、無駄に使わず、効率的にということ子どもにも伝えていきたいです。

◎ 今回のトイレ掃除で、リーダーからとても分かりやすいトイレ掃除の仕方、伝え方、参加者への気配り、ほめ方を学び、感心しました。全てにおいてリーダーが工夫していることに気づきました。仕事上で指導することが多くありますが、社員に本当に工夫して伝え、ほめて、やる気を引き出しているか？と思いました。今日の喜び、嬉しさを伝えていただいたリーダーに感謝し、伝える工夫を職場で実践していきます。

○ 嫌なこと、したくないと思うことも一歩踏み出す勇氣をもつことです。いい気分になりました。みんなで協力して一つのことに取り組みと大きな成果につながることを生かしたい。また、この活動

を通して、初対面の方ともコミュニケーションがとれたことも活かしていきたいです。

○ 職場では、毎日のように、いろいろな困難にぶちあたります。「ああ、もうやめてしまいたい。」「どうして、こんなにいろいろなあるのだろう。」「と思いますが、そのたびに、どうしたらいいか工夫して、いろいろな方法でその問題に取り組んでいこうと思います。

○ 謙虚な気持ちで自分にできることはさせて頂くように努力します。私の工夫は、「ほめ方」の工夫です。やる気の出る、次にまたやろうという気になるほめ方を工夫したつもりです。

○ どんな道具よりも最後の細かいところでは、自分の手を使ったところが工夫です。子どもたちと一緒に掃除をして、この体験を自分の手で伝えたいと思います。

○ 一つのことをやるにも「どうすればよりよくできるか。」「まわりのためになるか。」「まわりに喜んでいただけるか。」「ということを考えながら行動すると、「工夫」することが見えてくるのではと思います。

○ 事前に作業の段取り、分担、道具の使い方、工夫の仕方などを確認してから作業に入ること、効率的に作業ができました。改めて、事前準備、工夫の仕方の大切さに気づかされ、仕事に取り組み際は、より入念に準備していくように心がけたいです。





掃除終了！真っ白になった便器が並んでいます。子どもたちが喜んで使ってくれるといいな！

- 我が校の職員室には、「一生懸命な人は、工夫をする。」とあります。今回は、陶器にサンドメッシュを使用しても傷がつかないことがわかりました。物の特性を生かし、身近にある物を使うことが大事であると実感しました。仕事にもこの「工夫」を活かしたいと思います。
- やりながら考える、ということに取り組んでいきます。考えて工夫して行動するのが効率がいいと思います。しかし、考えてばかりでは、なかなか行動できないので、体を動かすことを一番にしたいと思います。やりながら、考えついたことは実践していけるようにしたいと思います。
- 工夫することは難しさもありましたが、自分の行動が早くなったり、気持ちの持ち方が変わったりすることがあり、とても大事だと気づきました。今後は身の回りから改善していきます。
- 少し高い視点から全体を見渡す事も大切ですが、細部をしっかりと見る(便器に顔を突っ込んで)ことも忘れてはなりません。大きな戦略戦術と細部にまで気の行き届いた事業運営を心がけます。

- 何事も見えないところが大切な所と常に思い、掃除以外においても、子どもたちと接するときを考えていきます。

- 私がこの会で学んだことは、人間関係の工夫です。「すごいね。」「がんばったね。」という言葉が人の心を豊かにすること、人の頑張りを謙虚に受け止めることで、周囲にある人やものに感謝の気持ちももてること、全てはつながっているのだと思います。

- 道具の使い方、効率の良さを考えてから掃除やそれ以外の取り組みを行うことで、より早くより多く作業ができるということを今後に活かしたいと思います。物事はやはり計画を立ててから取り組むべきだと実感しました。

- 広い所だけでなく、細かい狭い所を道具や技法を変えながらやっていくという工夫を活用して、学校全体をきれいにしていきたいです。

<閉会行事:感想発表>
体験を通して学んだ気付き、工夫
を明日からの仕事に役立てます！



編集後記

東光小学校の井上秀明校長先生が、「掃除の時間があつという間に終わって、もっと徹底してやりたかったのに、と思いました。この掃除で、自分が変わったように思います。家に帰って、トイレ掃除をしましたよ。」と、後日語ってくれました。感動し、気付いたことを即、行動に移されたのですね。

便教会の掃除は、「きれいになって気持ちがいいね。」というだけで終わったらもったいないと言った人がいます。掃除の工夫は、道具やその使い方、節水や安全、協力の仕方、褒め方など、あげればきりがありません。しかし、その中から一つだけでも実行しませんか。今回の掃除で「工夫」したところが、参加された方々の家庭や学校、職場で広がり、継続されることを願います。

第十回福岡便教会・定例研修会のお知らせ

日時 平成二十四年八月十八日(土)
 午前八時三十分～十二時

会場 福岡市立柏原中学校

☎ 092・566・1181

住所 福岡市南区柏原一・八・一

申し込み 和白中学校 猪迫広樹 教頭へ

☎ 092・606・5031

発行責任者 十時宏徳
 粕屋郡篠栗町大字篠栗四六五五―一
 電話・Fax 092・947・1108